

第1 豊かで活力ある長寿社会に向けた総合的戦略の推進 ～メディカル・フロンティア戦略の推進～

- 豊かで活力ある長寿社会を創造することを目指して、働き盛りの国民にとっての二大死因であるがん及び心筋梗塞、要介護状態の大きな原因となる脳卒中、痴呆及び骨折について、地域医療との連携を重視しつつ、先端的科学の研究を重点的に振興するとともに、その成果を活用し、予防と治療成績の向上を果たすため、総合的な戦略である「メディカル・フロンティア戦略」を推進する。
- 「メディカル・フロンティア戦略」は、2005年までの5か年計画とする。
- 期待される効果は、
 - ①がん患者の5年生存率（治ゆ率）の改善（20%）を図ること
 - ②心筋梗塞、脳卒中による死亡者を年間5万人以上減らすこと
 - ③自立している高齢者の割合を、5年後に90%程度（現在約87%）に高め、疾病等により支援が必要な高齢者の増加を70万人程度減らすことである。

1. ゲノム科学やたんぱく質科学を用いた治療技術・新薬等の研究の推進

(1) 新しい治療技術・新薬等の研究開発の推進

- ◇基礎研究の推進（ゲノム科学、たんぱく質科学、再生医療等の推進）
- ◇より効果的な保健医療技術を確立するための臨床研究等の推進（科学的知見の収集、専門家による評価）
- ◇医療機関における治験の推進（地域の中核的な医療機関と診療所が連携した治験推進ネットワークモデル事業の実施、治験コーディネーター養成研修の拡充）

(2) 研究推進のための基盤整備

- ◇画期的な医薬品等の開発に関する基盤技術の拠点的研究機関の整備（基本設計の実施）
- ◇国立長寿医療センター（仮称）の整備（基本設計の実施）
- ◇がん予防研究センター（仮称）の整備（基本構想の策定）
- ◇医療に関する情報の収集・提供のための基盤整備

2 疾病予防、健康づくり対策の推進

- ◇保健指導に従事する保健婦等による健康教育の充実（指導マニュアルの作成、保健婦等への研修）
- ◇ヘルスサポーターの養成による地域における健康づくりの推進（3か年計画で100万人養成）
- ◇脳卒中の初期症状、初期対応に関する知識の普及（ホームページの作成、脳卒中の緊急対応指針の作成）

3 質の高いがん医療の全国的な均てん、心筋梗塞・脳卒中の早期治療体制の整備等

(1) 質の高いがん医療の全国的な均てん

- ◇都道府県ごとの拠点医療機関における研究・研修
- ◇情報ネットワークによる診療に関する情報の共有（がんネット）
- ◇専門的看護ケアの研修

(2) 心筋梗塞・脳卒中の早期治療体制の整備等

- ◇救命救急センターにおける心臓病及び脳卒中の専門医の配置
- ◇救命救急センターへのCCU（心臓病の集中治療室）、SCU（脳卒中の集中治療室）専用病室・医療機器の整備
- ◇二次救急医療施設へのCCU、SCU専用病室・医療機器の整備（二次医療圏に2か所）
- ◇ドクターヘリの導入（全国7か所の救命救急センターに配備）
- ◇二次救急医療施設の医師の研修
- ◇初期救急医療施設（診療所）の医師の研修
- ◇救急医療情報の収集・提供体制の充実（救急医療情報センターの整備）
- ◇専門的看護ケアの研修（再掲）

(3) ITの活用による医療提供体制の整備

- ◇地域医療の充実のための遠隔医療の実施（画像伝送技術等の利用）
- ◇電子カルテの普及推進（医療情報の標準化の推進等、国立病院・療養所における電子カルテの導入（院内の診療情報の共有化））

4 総合的な痴呆対策の推進と骨折による寝たきり予防対策の充実

(1) 総合的な痴呆対策の推進

- ◇老人性痴呆疾患センターの整備の推進
- ◇痴呆介護技術等に関する研究と指導者の養成（全国3か所の高齢者痴呆介護研究センターで実施）
- ◇痴呆性高齢者グループホームの整備の推進
- ◇高齢者ITケアネットワークの事業の支援（痴呆性高齢者の徘徊探知システムの構築等）
- ◇専門的看護ケアの研修（再掲）

(2) 骨折による寝たきり予防対策の充実

- ◇骨折による寝たきり予防のための効果的なりハビリテーションプログラム等に関する研究の推進（プログラムの作成等）
- ◇専門的看護ケアの研修（再掲）